

【将来像】 ふるさとの記憶を受け継ぎ、育み、伝える歴史文化が息づく、誇りある宇和島へ																				
方向性	課題	方針	措置										歴史文化の特徴							
			No.	事業名等	事業主体				財源			実施時期			お町	海	里			
					●主 ▲協力・支援 ■参加	国	県	市	所有者団体	前期 R9~13	後期 R14~18	次期 R19~								
市民	団体	所有者	行政																	
2 守り、つなぐ	※前頁と同じ記述 課題2：公的保護の限界と継承基盤の脆弱化 ●予算人員の限界にともなう未指定文化財の公的保護への機動的対応の不足 ●地形的要因や老朽化にともなう自然災害や盗難への防災防犯対策の遅れ ●『宇和島城』の耐震斜面保全や『宇和島市津島町岩松伝統的建造物群保存地区』の修理費増大 ●『遊子水荷浦の段畑』等の維持限界や『吉田祭のお練り行事』の人的負担増大	※前頁と同じ記述 方針2：横断的連携による持続可能な継承モデルの構築 ◆方針2-1 文化財の指定等の戦略的推進と基盤的保護の履行（措置No.13, 18, 19） ◆方針2-2 文化財保存事業費補助事業の活用と官民パートナーシップの強化（措置No.14~17, 23, 24） ◆方針2-3 文化財防災・減災・防犯事業の強化と意識啓発の推進（措置No.25） ◆方針2-4 宇和島城保存整備事業による予防保全の推進と普及（措置No.20） ◆方針2-5 庁内及び関係機関等との連携による横断的解決の推進（措置No.21, 22） ◆方針2-6 文化財アーカイブ事業によるデジタル記録と伝習支援（措置No.12）	19	文化財の指定等 文化財の指定、登録等を行い、現在未指定となっている文化財のうち貴重なものの保護を図る。 行政担当：文化・スポーツ課（主担当）				●			○									
			20	宇和島城保存整備事業 宇和島城天守や石垣の耐震診断、耐震補強等を行い、防災、減災対策を行う。 行政担当：文化・スポーツ課（主担当）				●			○								●	
			21	庁内及び関係機関等との連携 宇和島市文化財保存活用地域計画協議会を開催し、庁内及び関係機関との連絡を図る。 行政担当：文化・スポーツ課（主担当）				●												
			22	庁内及び関係機関等との連携 宇和島市文化財保存活用地域計画の普及活動を行い、地域全体での文化財の保存・活用を図る。 行政担当：文化・スポーツ課（主担当）				●												
			23	地域・各種団体交流事業 文化財関係団体間での交流、意見交換、連携を行うことで文化財の保存・活用を図る。 行政担当：文化・スポーツ課（主担当）/市民協働推進室（関係部局）			■	●		▲				○						●
			24	世代間交流事業 公民館等での地域行事を推進、世代間での交流を図り、未来の文化財の担い手を養成する。 行政担当：生涯学習課（主担当）/文化・スポーツ課（関係部局）			■	●		●				○						
			25	文化財防災・減災・防犯事業 文化財の防犯・防火・耐震・防災対策に係る啓発と対策を行い、意識の向上に努める。 行政担当：文化・スポーツ課（主担当）/危機管理課,警察署,消防署（関連部局）				●	●	○	○	○	○				●			

【将来像】 ふるさとの記憶を受け継ぎ、育み、伝える歴史文化が息づく、誇りある宇和島へ																						
方向性	課題	方針	措置										歴史文化の特徴									
			No.	事業名等	事業主体				財源			実施時期			お町	海	里					
					●主 ▲協力・支援 ■参加	市民	団体	所有者	行政	国	県	市	所有者団体	前期 R9~13				後期 R14~18	次期 R19~			
3 活 か し て 、 育 む	課題3：活用の分断と当事者意識の不足 ●「お町」「海」「里」を繋ぐガイダンス機能の不足や文学資源の活用不十分 ●「伊達博物館」を核とした周遊環境の未整備や案内板等の仕様不統一・多言語化の遅れ ●観光や産業への調査成果の実践不足や『牛の角突き習俗』の振興・伝統技能継承の課題 ●市民がもてなす側の当事者として活躍する機会の不足にともなう郷土愛醸成の障壁	方針3：ハブ&スポーク型のネットワーク構築とシビックプライドの醸成 ◆方針3-1 『伊達博物館整備事業』及び『市内文化財活用拠点事業』によるネットワークの構築(措置No.30, 31) ◆方針3-2各事業によるサテライト拠点の整備と機能強化(措置No.26~29, 31, 40) ◆方針3-3史跡等の整備事業及び文化財情報発信事業によるブランディング強化(措置No.32, 33, 34) ◆方針3-4観光連携及び産業連携による社会参画・体験活動の展開(措置No.35~39, 41, 42)	26	宇和島城保存整備事業 作事所跡の整備を通じて伊達博物館への周遊ルートを築き、新たな魅力を発信する。 行政担当：文化・スポーツ課(主担当)/都市整備課・商工観光課(関係部局)	●					○	○						●					
			27	伝統的建造物群保存地区整備事業 小西本家の整備を行い、伝統的建造物群保存地区の公開活用施設としての性格を持たせる。 行政担当：文化・スポーツ課(主担当) 連携団体：町並み関連団体		▲		●			○	○							●			
			28	伝統的建造物群保存地区整備事業 西村酒造を整備し、伝統的建造物群保存地区の重層的な魅力づくりを行う。 行政担当：文化・スポーツ課(主担当)		▲		●			○	○								●		
			29	吉田ふれあい国安の郷展示整備事業 吉田祭に関する展示の拡充と整備を行い、吉田祭の普及、啓発を行う。 行政担当：文化・スポーツ課 団体：保存団体		▲		●				○								●		
			30	伊達博物館整備事業 市内全域の文化財活用拠点として、新伊達博物館の建設を行う。 行政担当：伊達博物館				●					○							●		
			31	市内文化財活用拠点事業 市内全域の文化財活用拠点として、伊達博物館を運用する。そして、宇和島城や小西本家、旧毛利家庄屋住宅、吉田ふれあい国安の郷を整備し、サテライト拠点として運用する。 行政担当：伊達博物館,文化・スポーツ課(主担当)		▲		●					○							●	●	●
			32	史跡等の整備事業 市指定文化財等の説明板を市のデザインガイドラインに即して再整備し、周知、啓発を行う。 行政担当：文化・スポーツ課(主担当)/都市整備課(関係部局)				●						○								
			33	文化財情報発信事業 仕様を統一した各文化財パンフレットを作成し、それぞれの文化財の周知、啓発を図る。 行政担当：文化・スポーツ課(主担当)				●						○						●		
			34	文化財情報発信事業 文化財、観光パンフレット及びホームページの多言語化を行い、誰もが理解できる文化財の説明に努める。 行政担当：商工観光課,文化・スポーツ課(主担当) 連携団体：観光物産協会			●		●					○	○							

【将来像】 ふるさとの記憶を受け継ぎ、育み、伝える歴史文化が息づく、誇りある宇和島へ																				
方向性	課題	方針	措置										歴史文化の特徴							
			No.	事業名等	事業主体				財源			実施時期			お町	海	里			
					●主 ▲協力・支援 ■参加	国	県	市	所有者 団体	前期 R9~13	後期 R14~18	次期 R19~								
市民	団体	所有者	行政																	
3 活かして、 育む	※前頁と同じ記述 課題3：活用の分断と当事者意識の不足 ●「お町」「海」「里」を繋ぐガイダンス機能の不足や文学資源の活用不十分 ●「伊達博物館」を核とした周遊環境の未整備や案内板等の仕様不統一・多言語化の遅れ ●観光や産業への調査成果の実践不足や『牛の角突き習俗』の振興・伝統技能継承の課題 ●市民がもてなす側の当事者として活躍する機会の不足にともなう郷土愛醸成の障壁	※前頁と同じ記述 方針3：ハブ&スポーク型のネットワーク構築とシビックプライドの醸成 ◆方針3-1 『伊達博物館整備事業』及び『市内文化財活用拠点事業』によるネットワークの構築（措置No.30, 31） ◆方針3-2各事業によるサテライト拠点の整備と機能強化（措置No.26~29, 31, 40） ◆方針3-3史跡等の整備事業及び文化財情報発信事業によるブランディング強化（措置No.32, 33, 34） ◆方針3-4観光連携及び産業連携による社会参画・体験活動の展開（措置No.35~39, 41, 42）	35	観光連携_周遊ルート開発 文化財を含めた観光周遊ルートの開発を行うことで、それぞれの文化財の魅力向上に努める 行政担当：商工観光課（主担当）/文化・スポーツ課（関連部局） 連携団体：観光物産協会		●		●			○	○				●				
			36	観光連携_宇和島城誘客 伊達な宇和島お城まつりの開催や城郭関連のイベントに出店、宇和島城への誘客を図る。 行政担当：商工観光課（主担当）/文化・スポーツ課（関連部局） 連携団体：観光物産協会																
			37	観光連携_木屋旅館の活用 文化財の活用モデルとして国登録有形文化財である木屋旅館の企画、運営を行う。 行政担当：商工観光課（主担当） 連携団体：指定管理者			●		▲				○	○				●		
			38	観光連携_ボランティアガイド育成 ボランティアガイドを斡旋し、観光客などが文化財に対する興味、知識を深めることを図る。また、ガイド養成により多くの市民が宇和島の歴史と文化について説明できる環境を整える。 行政担当：商工観光課（主担当）/文化・スポーツ課（関連部局） 連携団体：観光物産協会			■	●		▲			○	○				●		
			39	観光連携_闘牛の振興 無形民俗文化財となる闘牛（牛の角つき習俗）大会の運営を行ない、習俗の継承を図る。 行政担当：商工観光課（主担当） 連携団体：観光物産協会			●	●	▲				○	○						
			40	産業連携_重要文化的景観の活用 重要文化的景観である遊子水荷浦の段畑を保全、活用し、文化的景観の維持に努めるとともに、観光コンテンツとしての整備を進める。 行政担当：農林課（主担当）/文化・スポーツ課,商工観光課（関連部局） 連携団体：指定管理者,保存団体			●	●	▲				○	○					●	
			41	産業連携_地域産業の継承 真珠等、特産品の販売促進を行い、地域産業の継承を図る。 行政担当：商工観光課,農林課,水産課（主担当）/市長公室（関連部局） 連携団体：商工会議所、観光物産協会			●		▲				○	○						●
			42	産業連携_伝統技能の継承 えひめ伝統工芸士などの推薦を行い、伝統的な技能の継承を図る。 行政担当：商工観光課（主担当）					●				○							